

主 文

本件抗告を棄却する。

理 由

本件抗告の趣意は、単に、原決定は憲法を含む法体系の根拠の解釈に誤りがある
というものであつて、法廷等の秩序維持に関する法律六条の抗告理由にあたらない。

よつて、同法九条、法廷等の秩序維持に関する規則一九条、一八条により、裁判
官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和四六年六月三日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	村	上	朝	一
裁判官	色	川	幸	太 郎
裁判官	岡	原	昌	男
裁判官	小	川	信	雄